

津山高専生と津山市議会議員の意見交換会

～第12回議会報告会～

日 時：令和元年11月12日(火)

15:15～17:00

会 場：津山工業高等専門学校

テ ー マ 未来の津山市を考える ～高専での学びをとおして～

参 加 者 津山高専生 22名 ， 津山市議会議員 26名



津 山 市 議 会

議会報告会(津山高専生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和元年 11 月 12 日(火) 15 時 15 分 ~ 17 時 00 分	
開催場所	津山工業高等専門学校	
班 名	1 班	
出席議員	班 長 : 松本義隆	副班長 : 政岡大介
	司会者 : 松本義隆	岡安謙典
	記録係 : 河村美典	政岡大介
	記録係 : 高橋寿治	村上祐二
参加者 (津山高専生)	7人(男 4人 : 女 3人)	
テーマ	未来の津山市を考える ~高専での学びをとおして~	
意見交換の 内容 (主なもの)	津山高専生の質問・意見・要望等	議員の回答・意見・助言等
	映画を見るためには、岡山市までいかなければならない。映画館が欲しい。ペルフォーレでも見るが、ロードショーではなく、本数、時間が限られている。どうにかならないか。	映画館があればという声があることは承知している。以前も市民が署名を集めて要望したが、商業的に難しく、かなわなかった。行政ができることではないので、商業者にまかせるしかない
	R53と県道河辺高野山西線の交差点で朝夕渋滞が起こる。なんとかならないか。	道路を造る際には交通量調査等をし、費用対効果を考えてはいるが、関係機関に問い合わせをしてみたい。
	アルネの図書館や、フリースペースを勉強の場として利用するが、夕方や、土日(特に試験前)にはいっぱいになるので、フリースペースの確保や商店街の中に勉強カフェはできないか?	実情が分からないので、実際に見て勉強したい。
	高専からの移動に路線バスを使うが、本数が少ない。どうにかならないか。	収益上の課題があり、都市に比べると不便であるということは承知している。循環バスは税金を投入して運行しており、投入額を増やせば本数も増えるが、限界がある。公共交通の問題は十分認識している。乗客数をみて、今後の検討課題にさせてほしい。
	JR 津山線を利用するが、ICカードが使えない。ことぶきの本数を増やしてほしい。	JR の問題だが、市民の要望として対処したい。
	津山駅の駐輪場が高校生の自転車でいっぱい、おけないことがある。バイク置き場まで自転車が止めてある。もっと広くならないか。	実態を調査して、管理者に報告する。
	市議会って何なのか。	選挙で選ばれた 28 人の議員が市民の声を反映させ、より良い津山をつくっていこうと議論する場。市長が提案する施策を協議し議会の議決によって、予算執行の決定をする場。
	駅前がきれいになったが、商店街が寂しい。もっとにぎやかにならないか	駐車場の問題もあるが、商店街に行かなければならないというものを作らないと、市民は足を運ばないのではないかと。商店街の活性化にとって良いと思うことがあれば、意見を聞かせてほしい。
まとめ・特記事項	議会からの発信力が足りないのか、市政にあまり興味を持たれていないが、議員が感じていない生活に密着した身近な問題があるように思われる。今後も若い市民の声を聴いて、市政に生かしたい。	

議会報告会(津山高専生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和元年 11 月 12 日(火) 15 時 15 分 ~ 17 時 00 分	
開催場所	津山工業高等専門学校	
班 名	2班	
出席議員	班 長 : 政 岡 哲 弘	副班長 : 広 谷 桂 子
	司会者 : 政 岡 哲 弘	
	記録係① : 美 見 みち子	記録係② : 三 浦 ひらく
	河 本 英 敏	竹 内 靖 人
	広 谷 桂 子	吉 田 耕 造
参加者 (津山高専生)	5人(男 3人 : 女 2人)	
テーマ	未来の津山市を考える ～高専での学びをとおして～	
意見交換の 内 容 (主なもの)	津山高専生の質問・意見・要望等	議員の回答・意見・助言等
	映画館や、多くの人が集まることが可能な商業施設など、活気のあるスポットが欲しい。公共交通機関の利便性向上や、イベントを増やすことでにぎわいが生まれるのではないかと。	映画館待望の声は承知していたが、若い世代からのニーズがあることもわかった。民間頼みの面が強い要望が多いが、議会にできることを積み重ね、より住みやすい津山にしていく。
	就職・進学といった将来を考えた際、津山市内にとどまるという選択肢にはあまり魅力を感じない。経験を積むという観点からも、都会に出て学びたい。	他地域に出て経験を積むのは素晴らしいこと。その上でやがて戻って来てもらいたいと思えるような津山を維持していく必要がある。どんな津山であればそう思ってもらえるだろうか。
	悪い点を探すとといった見方はしていないが、当地のみの魅力創出のため、シャッター街活性化等に若い世代の声を反映させても良いのでは。若い世代へアプローチが足りない。	まさしく若い世代にアプローチするための機会と捉えている。率直な意見・提案を伺いたい。若い世代へ効果的にPRするためにも聞きたいが、情報をどのようにして仕入れているのか。
	タウン情報誌 JAKEN、広報つやま、ホームページ、SNS、先生や友人、チラシ等様々な媒体からイベント情報、テレビやネットニュース経由で時事ネタを仕入れている。	新聞を読むことはないのか。エフエム津山を聞いたことはあるか。津山市や議会のホームページ等、市政に関する情報に積極的にアクセスしたことがある人はいるか。
	新聞は誰も読んでいない。エフエム津山を聞いたことがあるのは一人。そもそも存在を知らない。津山市や津山市議会のホームページを見たことがある人もいない。	残念な回答だが現実には予想通りでもある。政治に関心をもっと持ってほしい。学生の皆さんにとっても関係があること。投票率の低さをどうにかしたい。選挙に行ってもらいたい。
	消費税には関心があるが、市議会議員選挙に投票することで自身の意見が反映されている実感がない。自分が投票しても変わらないと思う。投票率向上には義務化しかないのでは。	政治は誰にとっても関係があること。社会は支えあいによって成り立っている。興味を持つきっかけとして、例えば災害時のボランティア活動などが入り口になることもある。そのあたりは。
	皆、災害ボランティア等に興味はあるが一歩が踏み出せないのが現状。想像力を働かせて経験していないことを自分のことのように思い、動けるようになれば良いと思う。	災害はいつでもどこでも起こる。税金の使い道を決める政治は大事。自分の一票で街が変わること、公共サービスの基本は思いやり、色んなことを考えてもらいながら、故郷を愛してほしい。
まとめ・特記事項	政治への興味のなさ、事実を把握できたことは有意義だった。若者が期待を持てるような政治を、実現していかなければならない。市外・県外で経験を積み、それでもなお、このまちで家族と暮らしたい、そう思ってもらえるような故郷であり続けるためには、私たち市議会議員が果たすべき責任は非常に大きい。ものづくり、まちづくり…全てはひとつづくりから始まることを再確認した。	

議会報告会(津山高専生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和元年 11 月 12 日(火) 15 時 15 分 ~ 17 時 00 分	
開催場所	津山工業高等専門学校	
班 名	3班	
出席議員	班 長 : 金田 稔久	副班長 : 田口 浩二
	司会者 : 金田 稔久	原 行則
	記録係 : 勝浦 正樹	竹内 邦彦
		村田 隆男
参加者 (津山高専生)	5人(男 3人 : 女 2人)	
テーマ	未来の津山市を考える ~高専での学びをとおして~	
意見交換の 内 容 (主なもの)	津山高専生の質問・意見・要望等	議員の回答・意見・助言等
	道路状態の悪い所がある。 鶴山通り、店舗へ入るときの段差が危険である。 マンホールの段差。	今後の改善に向けて調査する。
	若者の娯楽施設が少ない。 映画館が欲しい。 洋服等の専門店が少なく岡山へ行っている。	津山市としては、税金をベルフォーレへの運営費として投入しており、今後も期待をするところだが再考する必要がある。 専門店等の必要性としては、若者のニーズとして重要な課題と受け止めている。
	就職先を考えた時、津山市には魅力的な企業が少なく感じている。	企業誘致には積極的に取り組んでいる。 災害の少ない地域としても、全国にアピールを展開していく。
	観光面としては、桜の季節の鶴山公園は大変魅力的である。城下町をアピールし観光客増加に結びつけてほしい。	通過型観光から、滞在型観光に向けての取り組みを進めている。
	津山駅から市内中心部への移動が便利。鏡野(プラント)から、津山へのバス運行が良い。姫新線の便数が少ない。	立地適正化計画を作成し、コンパクトで持続可能な都市の構築に向けて取り組んでいる。 姫新線の問題は、市民の要望として対処したい。
	津山は食文化が進んでいる。中でも牛肉を扱った商品が良い。又、食べ歩きができる情報発信をしてもらいたい。	観光協会、商工会議所等との連携を強め、津山の魅力発信により一層努める。
	旧、勝北地域には光回線が入ってない。	超高速光回線に回線の古い所より更新中である。
まとめ・特記事項	<p>今回5名の高専生の皆さんは、全員が県内出身であり、津山に親近感をもってくださっている方々であり、和やかな雰囲気での意見交換会となりました。高専で専門的分野の勉強をされていることから、津山以外での進学や就職先を希望されている方が多く、残念に思うところでありました。しかしながら将来津山に帰ってきて、起業する場合しっかりとサポートできる支援制度もあることを紹介させていただき、学生の皆様にとっても希望をもっていただける良い機会であったと感じました。今回のご意見を議会活性化にしっかり活かしてまいります。</p>	

議会報告会(津山高専生と津山市議会議員の意見交換会)実施報告書

開催日時	令和元年 11 月 12 日(火) 15 時 15 分 ～ 17 時 00 分	
開催場所	津山工業高等専門学校	
班 名	4班	
出席議員	班 長 : 岡田 康弘	副班長 : 津本 辰己
	司会者 : 岡田 康弘	近藤 吉一郎
	記録係 : 秋久 憲司	中島 完一
	記録係 : 安東 伸昭	中村 聖二郎
参加者 (津山高専生)	5人(男 3人 : 女 2人)	
テーマ	未来の津山市を考える ～高専での学びをとおして～	
司会者の主旨	学生さんから、できるだけ多くの発言してもらい意見を聴こうという司会者の思いがあり、議員からの意見・助言等は短くするようにした。	
自己紹介	議員から自己紹介を行う(名前のみ) 5名の学生さんからの自己紹介(学科、学年、氏名)	
意見交換の内容 (主なもの)	津山高専生の質問・意見・要望等	議員の回答・意見・助言等
	<p>高専に入ろうと思った考え、動機について尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来、ノーベル賞を目指す。 ・給与も良く、安定した会社に入るため ・テレビでロボットコンテストを観て、学校の印象が残り、学校を調べて。 ・数学に興味を持って、高専を選ぶ。 <p>※5年生2名は、就職先は決まっている。 1人は県南、1人は作州地域 津山には、自分に適した仕事が見つからなかった。 将来は、大学進学を考えている。</p>	<p>大きな目標、夢を持つことは大切である。 素晴らしい会社もあるよ！</p> 
	<p>津山地域外から来られている学生さんの学校までの時間を尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2時間程度かかる。 ・交通費が高い感じを受ける。 ・帰省先(倉敷)の交通費が2千円かかる。 (学割が効かない乗車距離) <p>現状で困っていることは何かを尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスや列車の便数が少ない。 ・高専からの交通手段は、徒歩または自転車である。 ・田んぼの畔焼きの煙とにおい 	<p>質問の意図は、公共交通の時間短縮等への思いを聴くことを目的として質問する。</p> 

	<p>津山市の街について(印象を含め)尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道が暗い(街路灯が少ない) ・道が狭い ・冬になると学校の周りが凍結して、転びそうになる。 	<p>これらの事は、我が4班(建設水道委員会)の役割である。</p>
	<p>津山市内の観光施設について尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鶴山公園、衆楽園には行く。 	<p>津山自然のふしぎ館や、洋学資料館もある。</p>
	<p>津山市に望むこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強できるスペースが欲しい。 ・市立図書館は遠い。 ・条件は、専門書が置いてあれば、持っていく必要がなくなる。 ・映画館が欲しい。 	
	<p>今回の意見交換会に参加しようとしたきっかけについて尋ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての学生が、先生からのすすめにより参加する。 	
	<p>不満な点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になしとの意見が多い中で、税金(消費税)が高いとの意見がある。 	<p>財源確保の目的と用途を明確にすることが大切である。</p>
<p>まとめ・特記事項</p>	<p>技術系の学生さんなので、スカッと気持ち良く、歯切れの良い意見が出ました。しっかりとした「志し」を持って、学生生活を送っているとの印象を受けました。行政への不満はあまり出ませんでした。</p> <p>学校周辺は民家が少なく、丘の上ということで、日陰等の影響もあり、道路の凍結対応を！との依頼があった。</p> <p>行政として、学校周辺の環境について、より注意を払い、可能な限り良好な学生環境を維持していくことは必要と考えました。</p> <p>3班と近接していたため、相互の声が共鳴し、聴き取りづらい状況であった。(改善点)</p>	